

ボール弁

BLV-1

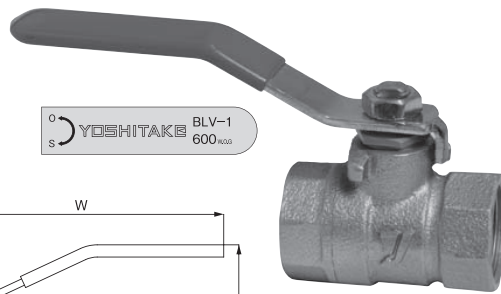
10K

16K

20K

青銅

ダクタイル

YOSHITAKE BLV-1 600_{EXD}

仕様

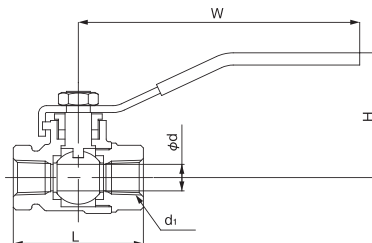
適用流体	蒸気・水・油・空気・その他非危険流体
最高圧力	飽和蒸気:1.0MPa 常温(40℃以下)の水・油・空気・その他非危険流体:4.12MPa
材質	弁箱 青銅
	ボール 黄銅+Crメッキ又はステンレス鋼
	ボールシート PTFE
接続	JIS Rc

- 工場出荷時、バルブ(ボール)は開状態です。
- 製品に流れ方向の制約はありません。

寸法及び質量

呼び径	d ₁	d	L	H	W	質量(kg)
8A	Rc 1/4	10	49	47	106	0.2
10A	Rc 3/8	10	49	47	106	0.2
15A	Rc 1/2	12.7	53	47	106	0.3
20A	Rc 3/4	15	56	52	106	0.3

呼び径	d ₁	d	L	H	W	質量(kg)
25A	Rc 1	20	68	55	106	0.5
32A	Rc1 1/4	25	86	66	136	0.8
40A	Rc1 1/2	31.8	96	72	136	1.2
50A	Rc 2	38	108	77	136	1.8



ボール弁

BLV-1S

仕様

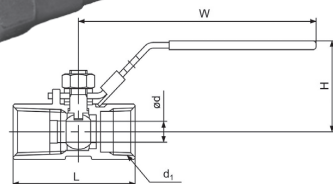
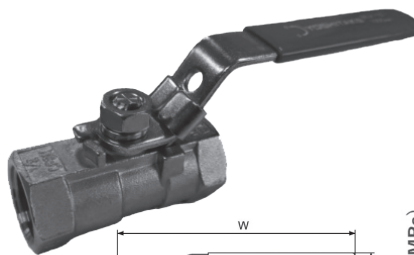
適用流体	蒸気・空気・冷温水・油・その他非危険流体
最高圧力	飽和蒸気:2.8MPa 常温(110℃以下)の水・油・空気:6.89MPa※
材質	弁箱 ステンレス鋼
	ボール ステンレス鋼
	ボールシート PTFE
接続	JIS Rc

※圧力-温度レーティングによる

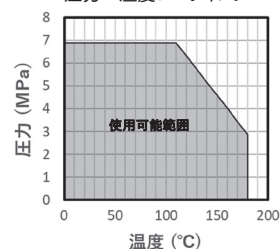
寸法及び質量

呼び径	d ₁	d	L	H	W	質量(kg)
8A	Rc 1/4	5	39	28.5	65	0.1
10A	Rc 3/8	7	44	31	88	0.1
15A	Rc 1/2	9.2	56.5	38	110	0.2
20A	Rc 3/4	12.5	59	40	110	0.2

呼び径	d ₁	d	L	H	W	質量(kg)
25A	Rc 1	15	71	47	110	0.4
32A	Rc1 1/4	20	78	52	110	0.5
40A	Rc1 1/2	25	83	58.5	155	0.8
50A	Rc 2	32	99	64.5	155	1.3



圧力-温度レーティング



ボール弁

BLV-2SF

仕様

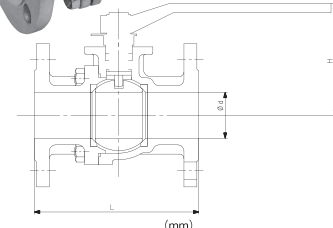
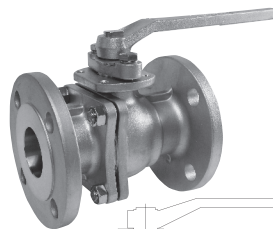
適用流体	蒸気・空気・冷温水・油・その他非危険流体
最高圧力	圧力-温度レーティングを参照ください
材質	弁箱 ステンレス鋼
	ボール ステンレス鋼
	ボールシート PTFE
接続	JIS 10KRF

●工場出荷日、バルブは閉状態です。

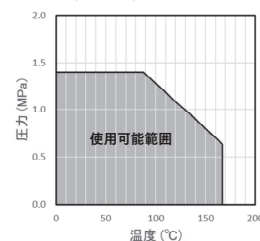
寸法及び質量

呼び径	d	L	H	K	質量(kg)
15A	15	108	73	145	1.9
20A	20	117	79	145	2.3
25A	25	127	91	165	3.8
32A	32	140	94	165	4.8

呼び径	d	L	H	K	質量(kg)
40A	40	165	113	230	6.5
50A	50	178	122	230	8.6
65A	65	190	144	230	12.7
80A	80	203	151	320	17.8
100A	100	229	165	320	24



圧力-温度レーティング



⚠ 注意

設置及び運転に際しては製品に同梱されております「取扱いに際しての注意事項」をご覧ください。

手動バルブ資料

取付けに際しての注意事項

- 製品の保管は屋内でゴミや塵埃、湿気が少なく、通気の良い場所にしてください。
- 取付けは熟練した専門の方が、頭部、目、手足を保護した上で行ってください。
- グローブ弁は流体の流れ方向と製品に表示されている矢印の方向を確認の上、正しく取付けてください。
- 製品を接続する配管は、管軸が一直線になるよう芯出しを行い、製品に過大な配管応力が掛からないようにしてください。
- グローブ弁は製品の運搬・保管中にパッキン応力緩和による締め付け圧力の低下からグランドナット部より漏れを発生させる場合があります。ご使用前に必ずグランドナットの増締めを実施してください。
- 配管と製品を接続する際はシール材(シールテープ等)を配管のねじ部に適用してください。シール材は温度・流体等に適したものを使用してください
- 凍結が予想される場合については、凍結防止策やご使用後の水抜き処置を行ってください。
- グローブ弁は、ハンドルを回してバルブを開閉操作する際に、ステムとの摺動によってパッキンの削れかすが流体中に混入する恐れがあります。流体中へのパッキンの削りかすなどの混入を嫌う使用条件では、グローブ弁の下流側にフィルターを設置して除去してください。
- ボール弁は、「全開」「全閉」用として使用することができます。中間開度で使用した場合、エロージョンが発生し弁体、及び弁座面を損傷する恐れがあります。
- グローブ弁の開閉操作は、必ず手作業で行い、ハンドル回しなどは使用しないでください。故障の原因となります。
- グローブ弁、ベローズ弁を全開で使用する場合、バルブの固着防止のため全開状態からハンドルを45°程度戻して使用してください。
- 配管に製品を接続する際は、配管に近い側のスパナ掛け部を使用し、スパナなどの適切な工具を使用してください。又、製品にパイプレンチを掛け配管作業をしないでください。故障の原因となります。(図1)

図1

